



おにぎり通信

2020年6月27日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、有楽町・銀座・日比谷公園・茅場町・日本橋・お茶の水・秋葉原・東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日6月27日は「演説の日」です。1874年のこの日、慶應義塾の三田演説館で日本初の演説会が行われたことを記念して、制定されました。

福祉行動は、しばらくお休みします。

お困りの方は、おにぎりを配るときにお声がけください。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当面の間、毎週月曜日の福祉行動は原則としてお休みいたします。

ただし、病院や生活相談等で福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に、お声がけください。毎週土曜日の訪問活動のときにお声がけいただいた場合のみ、次の月曜日に福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所…中央区築地14-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所…千代田区九段南1-2-3階

<特別定額給付金コールセンター>

総務省 0120-260020

(フリーダイヤル 応答時間帯: 毎日9時~18時半)

【ハスの話】

「新しい生活様式」の掛け声とともに、少しずつ日常が戻り始めているこの頃です。今回は夏の花の一つであるハスの話をしたいと思います。

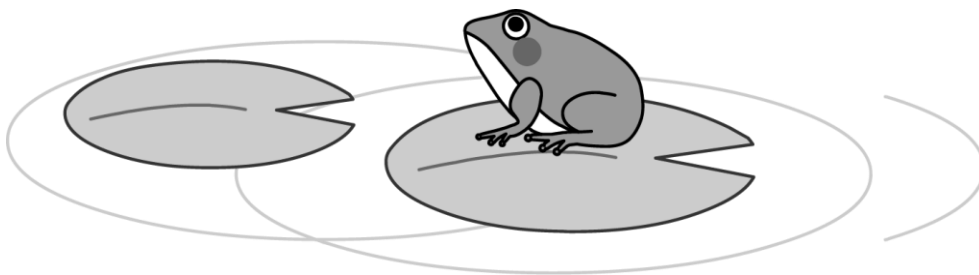
ハスは、現在のインド周辺が原産地で、1億2千年前からある植物だと言われます。毎年6月から8月辺りに白またはピンク色の花を咲かせますが、この花は早朝に咲き、昼過ぎには閉じてしまうのが特徴です。皆さんご存知の通り、ハスの根はいわゆる「れんこん」として食べられます。

そのため、ハスの品種には大きく分けて、塊茎(れんこん)が大きくなるように改良された「食用ハス」と、花を鑑賞する「花ハス」の2種があります。

そして、ハスの果実の皮はとても厚いため、土の中で発芽能力を長い間保持することができます。例えば、埼玉県行田市に因んで名づけられた行田蓮は、およそ1400年から3000年前のハスの種の発芽に成功したものです。

ハスの日本での古名「はちす」は、花托の形状を蜂の巣に見立てたとするのが通説です。現在の呼び名である「ハス」は、この「はちす」が訛ったものです。その他、水芙蓉もしくは単に芙蓉、不語仙、池見草、水の花などの異称を持っています。

また、ハスの花と睡蓮を指して「蓮華」といいますが、この名称は仏教とともに伝来したものです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上がりください。また、お一人1個でお願いします。



四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 080-7795-8535
(受付時間 毎週土曜日午後3時~午後6時)
千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会